



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム

開発途上国における サステイナブル・カカオ・プラットフォーム

児童労働のないカカオ産業に向けた共創レポート 2023-2024 ～セクター別アクションに基づく企業・団体の取り組みと進捗状況～



取り組み状況に関する調査結果概要

児童労働分科会では、2022年9月に策定した「児童労働撤廃に向けたセクター別アクション」を踏まえ、賛同組織に対して各社の取り組み状況に関する調査を行い、本年次レポートを作成致しました。

回答状況

- 報告該当期間：2023年10月～2024年9月
- 「児童労働撤廃に向けたセクター別アクション」への賛同組織数：23
- 回答組織数：17 ※以下、回答の公表に同意した組織の組織名・組織ロゴを掲載

商社・加工業・メーカー・小売業 (9)

- ・江崎グリコ株式会社
- ・株式会社コンフィテラ
- ・不二製油グループ本社株式会社
- ・明治ホールディングス株式会社
- ・森永製菓株式会社
- ・有楽製菓株式会社
- ・株式会社ロッテ

NGO・ナレッジ機関・認証機関・その他* (7)

- ・認定NPO法人ACE
- ・株式会社オウルズコンサルティンググループ
- ・株式会社シンメイ
- ・デロイトトーマツ コンサルティング合同会社
- ・日本チョコレート・ココア協会
- ・認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン
- ・レインフォレスト・アライアンス

政府・政府機関 (1)

- ・独立行政法人国際協力機構 (JICA)



*その他には業界団体や他セクターに該当しない企業を含む

児童労働撤廃に向けたセクター別アクションの概要

コレクティブ・インパクトによる児童労働のないカカオのサプライチェーンの実現を目的に設立された児童労働分科会では、各ステークホルダーに期待される具体的な行動を示した「児童労働撤廃に向けたセクター別アクション（以下、セクター別アクション）」を策定しました。

会員による、あるいは、会員同士の協働によるアクションの実践を通じて、カカオ産業における児童労働撤廃に向けた取組の加速、拡大を推進し、「2025年までのあらゆる形態の児童労働撤廃」を目指すSDG8.7の達成に貢献します。セクター別アクションに定められた、9つの項目に関する取り組みの進捗状況は、定期的に公表していきます。

セクター別アクションは、児童労働に関し、カカオ産業に関わる企業の人権デュー・ディリジェンスの実施を促進し、責任ある企業行動・調達の実現に資する実務的なガイダンスとして活用されることも意図しています。



調達比率

サステナブル・プログラム原料、あるいは認証原料を優先的に調達し、割合を増やす



産地特定とリスク調査

自社製品、サービスに関連する原料のトレーサビリティ、調達元地域を特定し、児童労働のリスクを調査、把握する（サプライヤーや第三者機関を通じた把握を含む）



是正措置

自社のサプライチェーン、原料調達地域において特定された児童労働事案に対して、適切な是正措置を取る（必要なリソースの提供を含む）



情報共有

児童労働に関するリスク、モニタリング、是正に関する情報を共有するためのシステムを構築し、カカオ生産国の政府・自治体、企業・業界、NGO等の情報を統合する



マルチステークホルダー連携

カカオ生産国及び消費国で児童労働を予防、監視、是正する、マルチステークホルダーの連携を推進する



生産地支援

カカオ生産国、自治体における、児童労働の防止、撤廃および、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保証等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応、制度環境、公共サービスの整備・改善の支援



消費者エンゲージメントの促進

消費者に対する児童労働の現状や取り組みの必要性・インパクトの発信により児童労働に取り組む商品の購買を促進



認証制度の強化

児童労働の撤廃に向けた、認証制度の強化



情報公開

取り組みに関する定期的な報告と情報公開



調達比率

サステナブル・プログラム原料、あるいは認証原料を優先的に調達し、割合を増やす

	2022/2023		2023/2024	
	商社/加工業者	メーカー	商社/加工業者	メーカー
サステナブル・プログラム原料、 あるいは認証原料を優先的に 調達した企業	3/4	6/6	2/3	5/5
サステナブル・プログラム原料、 あるいは認証原料の調達目標 を設定した企業	1/4	6/6	1/3	5/5



Point

前年比で各社の調達比率が増加傾向

複数の企業でサステナブル・プログラム原料、あるいは認証原料の調達比率増加が進み、100%を達成したメーカーが3社存在した。（2024年度中に2社が100%を達成）



グッドプラクティス【有楽製菓株式会社】



有楽製菓では、児童労働撤廃に取り組む原料を「スマイルカカオ」と称し、段階的にこのような原料の比率を増やし、2025年までに自社商品に使用するすべてのカカオ原料について、ココアホライズン財団の認証カカオ原料や不二製油(株)独自のプログラム（サステナブル・オリジン）による「児童労働撤廃に取り組む原料（スマイルカカオ）」へ変更することを目標としている。2025年目標であったスマイルカカオの調達率は、2024年7月をもって前倒しでの目標達成となった。



グッドプラクティス【明治ホールディングス株式会社】



自社独自の産地支援活動「メイジ・カカオ・サポート」として、2006年から世界9か国において、カカオ豆の品質向上への技術支援や農家の生活向上支援を実施。2026年度までに、農家支援を実施した地域で生産されたカカオ豆「明治サステナブルカカオ豆」の調達比率100%を目標として取り組みを進めてきたが、2024年度に前倒しで目標を達成。引き続き、持続可能なカカオ豆生産を目指して、児童労働や森林減少など、カカオ豆の生産地域や農家が抱える社会課題の解決に取り組む。

産地特定とリスク調査

自社製品、サービスに関連する原料のトレーサビリティ、調達元地域を特定し、児童労働のリスクを調査、把握する（サプライヤーや第三者機関を通じた把握を含む）

	2022/2023		2023/2024	
	商社/加工業者	メーカー	商社/加工業者	メーカー
原料のトレーサビリティ・調達元地域を特定するための対策をとっている企業*1	4/4	5/6	2/3	4/5
自社の原料調達における児童労働のリスクを調査し、把握している企業*2	3/4	6/6	2/3	5/5



Point

企業では児童労働監視改善システム（CLMRS）の導入が進む

児童労働監視改善システム（CLMRS）とは

国際ココアイニシアチブ（ICI）による児童労働モニタリングシステムで、①啓発と監視、②児童労働の特定、③改善支援、④フォローアップのステップを実施。

関連リンク：[The Child Labour Monitoring and Remediation System \(CLMRS\) explained | ICI Cocoa Initiative](#)



グッドプラクティス【明治ホールディングス株式会社】



明治は、カカオ豆のすべての調達先において、児童労働監視改善システム（CLMRS）もしくは同等のシステムを順次導入し、児童労働ゼロを目指している。

STEP 1：2026年度までにガーナ共和国

STEP 2：2030年度までにその他の調達先

23-24年度、明治がガーナ共和国から調達したカカオ豆のうち、CLMRS導入農家からの調達率は98.8%。児童労働と認められた子どもの数1,175名、これら全員に是正措置が取られた。具体的措置としては、現地パートナーによる両親/教員への子育てに関する教育、子どもたちのプログラム登録、子どもたちへの教科書、文具、ユニフォーム等の提供を実施。

*1 自社、サプライヤーや第三者機関を通じた把握を含む

*2 サプライヤーや第三者機関を通じた把握を含む

是正措置

自社のサプライチェーン、原料調達地域において特定された児童労働事案に対して、適切な是正措置を取る（必要なリソースの提供を含む）

	2022/2023		2023/2024	
	商社/加工業者	メーカー	商社/加工業者	メーカー
自社で使用している原料調達地における児童労働リスクに対する是正措置を取っている企業	2/4	6/6	2/3	5/5



Point

児童労働フリーゾーン（CLFZ）認定制度の構築が進む

児童労働フリーゾーン（CLFZ）認定制度とは

ガーナ政府が児童労働の撤廃に向けて進める政策で、児童労働を予防・是正する仕組みを整備した地域を「児童労働フリーゾーン」として認定する制度。「児童労働モニタリングシステム」が機能している、子どもの保護に関する条例が制定されている、学校環境が整備されている、といった要件を満たしているコミュニティと自治体を広めることを推進している。



グッドプラクティス

【江崎グリコ株式会社×認定NPO法人ACE】



ガーナのセントラル州アシン・サウス郡の特定地域より、トレーサブル・カカオを調達。対象16村のうち8村で、ガーナ政府の「児童労働フリーゾーンガイドライン」に則って、コミュニティレベルの仕組みの構築を推進。子ども保護委員会（CCPC）による児童労働のモニタリングの実施や世帯調査を通じて、リスクのある子どもや家庭を把握した。特定された157名のうち60名の子どもに学用品を支給したほか、前期に支援した80世帯のうち67世帯へのフォローアップ訪問を行い、カウンセリングなどを通じて子どもの就学を支援した。

情報共有

児童労働に関するリスク、モニタリング、是正に関する情報を共有するためのシステムを構築し、カカオ生産国の政府・自治体、企業・業界、NGO等の情報を統合する



Point

プラットフォームをはじめ各所での情報共有が進む

プラットフォームにおける会員間での情報共有に加え、企業関係者向けの講演活動やメディアの取材対応、レポート発出等を通じ、各社の取り組み事例が共有されている。

関連リンク：[児童労働ネットワーク20周年記念](#)

[HAPIC ブレイクアウトセッション「ビジネスと人権の課題に対するコレクティブ・インパクトでの挑戦 ～ 政府、企業、NGOの強みを活かす連携のあり方とは」](#)



サステイナブル・カカオ・プラットフォームとしての取り組み

プラットフォーム会員の皆様に向けて、サステイナブル・カカオ関連のニュースを月次でお届けした。カカオ業界に加えて他業界や機関投資家の動向、ルール・規範等、幅広いテーマのニュースを選定し、整理して情報共有を行った。

サステイナブル・カカオ・ニュース



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム

サステイナブル・カカオ関連の最新情報について、メールマガジン形式にてご紹介いたします。

2024年6月号

サステイナブル・カカオ・プラットフォーム会員の皆様

(bccでお送りしています)

サステイナブル・カカオ関連のニュースをお届けします。カカオ業界に加えて他業界や機関投資家の動向、ルール・規範等、幅広いテーマでお送りいたします。取り上げてほしいトピックや自社のお取り組み含め掲載記事のご希望があれば事務局までお知らせください。

■NGO

7. ガーナ、児童労働撤廃に向けた取り組み進む[ガーナ]

ガーナでの児童労働撤廃に向けて、JICAと日本のNPOであるACE、現地NGOが協力し、取り組みを進めている。ACEは、これまで給食や学用品の支援を行ってきたが、新たに児童労働をなくす体制と対策を整備した地域を「児童労働フリーゾーン」(CLFZ)として認定することを提案した。これはガーナ政府の政策に採用され、ガイドラインも策定された。さらに、JICAがCLFZの設立に向けた技術協力プロジェクトを開始し、4つの群でモデル活動を推進していく予定である。

<https://www.asahi.com/articles/ASS4Z61R1S4ZTNLL004M.html>

2024/5/3

[Back to top](#)

月次ニュース配信イメージ



マルチステークホルダー連携

カカオ生産国及び消費国で児童労働を予防、監視、是正する、マルチステークホルダーの連携を推進する



Point

業種・国を超えたプロジェクトでの連携や意見交換が進む

賛同組織による、カカオ産業における児童労働に関するWCF（World Cocoa Foundation）との意見交換や、国際機関（ILO、UNICEF・ICI、世界銀行等）、外務省やJICAと連携した児童労働撤廃に資するプロジェクトが行われている。



グッドプラクティス【株式会社ロッテ】

お口の恋人

LOTTE

主な調達地であるガーナ共和国において、カカオポッド由来バイオ炭のカカオ農園散布による再生農業の実用化に向けた有効性評価試験をカカオ関連企業 4 社で共同実施。カカオ農家で発生する未利用副産物であるカカオポッドを焼成し、バイオ炭を製造した後、カカオ農園に散布し、土壌改良効果および脱炭素効果を評価する。

関連リンク：[カカオ関連企業 4 社が共同でカカオポッド由来バイオ炭を用いた再生農業の有効性評価試験を実施](#)
※近年、同国では天候不順や病虫害、カカオの木の高樹齢化、農薬や化学肥料の高騰の複合的な要因の元、カカオの収穫量が激減しており、本評価試験を通じて、カカオ農家の生産性と持続性の改善可能性を探り、カカオ農家の生計向上を目指す。



グッドプラクティス

【森永製菓株式会社×認定NPO法人ACE】



ガーナで児童労働やカカオ生産の現状を学ぶラーニングジャーニーを企画し、森永製菓の社員3名が参加。ACEを通じて支援してきたカカオ生産コミュニティや学校を訪ね、子どもや地域住民との対話を通じて支援の成果や今なお残る課題を五感で体感した。さらに、サプライヤーの現場訪問や政府機関との直接対話等を含め、カカオのサプライチェーンに関わるあらゆる関係者の視点や取り組み、現地の文化・歴史的背景を学ぶことで、多角的な構造の理解を深めた。企業としての責任や役割への認識を深化させ、消費者エンゲージメントの強化にもつなげた。

マルチステークホルダー連携

カカオ生産国及び消費国で児童労働を予防、監視、是正する、マルチステークホルダーの連携を推進する



グッドプラクティス

【サステイナブル・カカオ・プラットフォーム】

2024年3月、ガーナのカカオ産業における課題や現状を学ぶため、サステイナブルカカオスタディツアーをガーナで実施。業界団体、商社、チョコレートメーカー、NGOなどを含む会員14名が参加し、カカオのサプライチェーン関係先を回り、会員それぞれの立場から果たすべき役割を見つめ直した。同時期に、ガーナ雇用労働省と国際機関

(ILO, UNICEF/ICI, 世界銀行) とガーナにおける児童労働撤廃に向けたローンイベントを共催。関係者が足並みを揃えて、児童労働撤廃を目指すことを確認する機会となった。

関連リンク：[カカオの主要生産国ガーナでスタディツアーを開催しました | 事業について - JICA](#)



カカオ農園での参加者の様子



ココアホライズン財団の活動視察



生産地支援

カカオ生産国、自治体における、児童労働の防止、撤廃および、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保証等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応、制度環境、公共サービスの整備・改善の支援

	2022/2023		2023/2024	
	商社/加工業者	メーカー	商社/加工業者	メーカー
生産国、自治体における、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保証等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応について、カカオ生産地域のコミュニティの社会経済的エンパワーメントのための取り組みを支援、または実施している企業・団体*	3/4 (3/4)	5/6 (5/6)	2/3 (2/3)	5/5 (3/5)
	NGO/ナレッジ 機関/認証機関 /その他	政府機関	NGO/ナレッジ 機関/認証機関 /その他	政府機関
	3/6	1/1	5/7	1/1



Point

生産性向上・学校建設等様々な支援が進む

賛同組織による生産性向上を目的とした農業支援や、生産地の学校建設・整備、井戸の寄贈等様々な取り組みが行われている。



グッドプラクティス【株式会社ロッテ】



日韓ロッテグループは、長年にわたるカカオ取引に感謝を込め、主な調達地であるガーナへカカオの苗木約12.5万本*をCOCOBODを通じて寄贈。近年指摘されているカカオ生産における様々な課題のうち、病虫害の被害や高樹齢化に対しては、カカオの木を新たに植え替えるために苗木が必要。同国における持続可能なカカオ生産を支援するため、感謝を込めてカカオの苗木を寄贈する。今後も同国と良好な関係を築きながら、持続的な調達に向けて取り組みを進める。

*2024年10月に贈呈する苗木約2.5万本と、育苗センターで25年6月頃を目途に育成される苗木約10万本の合計

リンク：[関連リリース記事](#)

* ()内の数字は自社のサプライチェーン以外での取り組みの有無



生産地支援

カカオ生産国、自治体における、児童労働の防止、撤廃および、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保証等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応、制度環境、公共サービスの整備・改善の支援



グッドプラクティス【認定NPO法人ACE】



子どもの教育とカカオ農家の自立支援する事業を2009年より継続。ガーナ、ウェスタン・ノース州の2村では、子ども5人を児童労働から保護。貧困家庭の子どもへの学用品支給、学校給食プログラム等を通じて、村の公立学校でほぼ100%の出席率を維持。カカオ栽培研修や女性のための稲作研修と資材支援のほか、新たに村貯蓄貸付組合（VSLA）を組織化し、カカオ農家の生計向上支援。コミュニティ活動計画（CAP）の策定支援やCCPC（コミュニティ子ども保護委員会）の持続性を強化するなど、ガーナ政府の児童労働フリーゾーン（CLFZ）認定制度の要件に沿った活動を展開している。



グッドプラクティス【森永製菓】



2008年より、商品の売上の一部を活用してカカオ産地の子どもを支援する「1チョコ for 1スマイル」キャンペーンを実施。2023年度に集まったキャンペーン特別期間の寄付額は約2千万円。寄付金を活用し、エクアドルのカカオ生産地域で、小学校の教室やトイレ、外周壁の建設と設置を支援。ガーナでは、地域住民が児童労働をモニタリングする仕組みの構築や、貧困家庭の子どもへの就学促進や学校の学習環境を改善する支援を実施。両活動は、公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン、認定NPO法人 ACE との連携で実施。

マルチステークホルダー連携

カカオ生産国及び消費国で児童労働を予防、監視、是正する、マルチステークホルダーの連携を推進する

生産地支援

カカオ生産国、自治体における、児童労働の防止、撤廃および、児童労働の根本原因への対応（教育、生活収入の保証等）または関連するその他の課題（森林破壊等）への対応、制度環境、公共サービスの整備・改善の支援



グッドプラクティス【国際協力機構(JICA) / 認定NPO法人ACE / デロイト トーマツ コンサルティング合同会社】



ガーナ政府は、「児童労働フリーゾーン（Child Labour Free Zones, CLFZ）」の制度構築、普及を進めており、JICAプロジェクトとして「児童労働フリーゾーンを通じた子どもの保護主流化プロジェクト」（2024年2月～2027年2月）を実施中。本プロジェクトでは、CLFZの実施体制強化、関係者間の連携強化、郡・コミュニティにおける実態調査・能力強化、CLFZアセスメント実施体制構築、資金動員メカニズムの検討等を通じて、実効的で持続可能なCLFZシステムの構築を図り、児童労働撤廃を目指している。

関連リンク：[児童労働フリーゾーンを通じた子どもの保護主流化プロジェクト | ODA見える化サイト](#)



①コミュニティでの活動の様子



②2024年3月に開催されたガーナ雇用労働省,ILO, UNICEF,世界銀行,JICAの共同ローンチイベントの様子

消費者エンゲージメントの促進

消費者に対する児童労働の現状や取り組みの必要性・インパクトの発信により児童労働に取り組む商品の購買を促進



Point

イベント登壇や自社サイトを通じて取り組みの周知が広がる

学生を含む一般消費者向けのイベント登壇や見学施設での展示・紹介、自社ウェブサイトや雑誌等における記事等の掲載により、課題・取り組みの周知が広がっている。



グッドプラクティス【森永製菓】



商品の売上の一部を活用してカカオ産地の子どもを支援する「1 チョコ for 1 スマイル」キャンペーンを実施。ウェブサイトや様々な取り組みを通じて、カカオ産地の現状や取り組みを消費者へ発信。2024 年度は出張授業の新しいプログラムとして「1 チョコ for 1スマイル」を題材とし、SDGsを学ぶことができる「未来ラーニング～チョコレートでSDGsを学ぶ～」を制作。他にも消費者に参加していただくリアルイベントの実施やセミナーへの登壇など、様々な側面から消費者との接点を拡大。消費者との共創によるカカオ産地支援を推進している。



グッドプラクティス【認定NPO法人ACE】



消費者エンゲージメントの強化を目的に、2023年12月より約1年間、立花商店、クラウン製菓、UPDATER、市川歩美氏と連携し、「スマイル・ガーナ プロジェクト」支援地域で生産されたカカオを原料に使用した「アニダソチョコレート」を企画・販売。購入を通じた寄付により支援に参加できる仕組みを導入し、商品パッケージのQRコードを通じて、ブロックチェーン技術を活用した生産地情報のトレーサビリティを可視化。百貨店や専門店で販売され、NHKや日本経済新聞にも取り上げられた。特設サイトでの対談記事や情報発信を通じ、社会課題への関心喚起を行った。



消費者エンゲージメントの促進

消費者に対する児童労働の現状や取り組みの必要性・インパクトの発信により児童労働に取り組む商品の購買を促進



サステイナブル・カカオ・プラットフォームとしての取り組み

- 阪急うめだ本店「St. Valentine's day CHOCOLATE EXPO 2024にて」ブース展示・ステージイベントを実施。ステージイベントでは、アーティストのSUDA YUMA氏とご家族をゲストに迎え、“サステナブル・カカオ”をテーマとしたライブペインティングを実施。プラットフォーム事務局からは、カカオ産業における社会課題やプラットフォームの取り組み内容についての説明を行った。



①パネルトークの様子



②ライブペイントの様子

認証制度の強化

児童労働の撤廃に向けた、認証制度の強化



Point

関係者間での意見交換が進む

認証機関とメーカー等、関係者間で認証制度の取り組みについて意見交換が行われている。

情報公開

取り組みに関する定期的な報告と情報公開

	2022/2023		2023/2024	
	商社/加工業者	メーカー	商社/加工業者	メーカー
児童労働の撤廃に向けて実施している取り組みや成果、知見、示唆などについて、情報公開している企業*	1/4	6/6	2/3	5/5
	NGO/ナレッジ機関/認証機関/その他	政府機関	NGO/ナレッジ機関/認証機関/その他	政府機関
	5/6	1/1	5/7	1/1



Point

調達目標・モニタリング結果等の公開が進む

複数の企業において、調達目標や特定された児童労働の件数、是正措置取り組み内容についての情報公開が行われている。

* 商社・加工業者・メーカーは自社のサステナビリティ報告書等において、サステナブル・プログラム原料、あるいは認証原料の調達状況や、サプライチェーンにおける児童労働モニタリング・是正措置の取組状況などの報告を定期的に行うことを指す。また、政府機関は産業界が実施している取り組みについての情報公開を指す

- 認定NPO法人ACE
 - しあわせへのチョコレートプロジェクト
<https://acejapan.org/choco/project>
 - スマイル・ガーナ プロジェクト
<https://acejapan.org/choco/smile-ghana>
 - チョコレートプロジェクト活動報告
https://acejapan.org/wp/wp-content/uploads/2024/06/ACE_ChocoReport2023-24.pdf
 - 年次報告書
https://acejapan.org/wp/wp-content/uploads/2024/12/2023-24_AnnualReport.pdf
- 江崎グリコ株式会社
 - <https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/index.html>
- 独立行政法人国際協力機構（JICA）
 - <https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/index.html>
- デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社
 - 児童労働撤廃に向けたデロイト トーマツの取り組み
<https://www2.deloitte.com/jp/ja/pages/about-deloitte/articles/dtc/child-labor-problem-solution.html>
 - 「本当の価格（True Price）」を考える：サプライチェーン透明化の重要性
<https://www2.deloitte.com/jp/ja/blog/d-nnovation-perspectives/2025/true-price.html>
 - テクノロジーで実現する持続可能な農業と人権課題の解決
<https://www2.deloitte.com/jp/ja/blog/group/2025/digitalization-agriculture.html>
- 認定NPOフェアトレード・ラベル・ジャパン
 - 国際フェアトレード認証基準の紹介など
<https://www.fairtrade-jp.org/>
 - フェアトレード ミリオンアクションキャンペーン
<https://fairtrade-campaign.com/>
- 明治ホールディングス株式会社
 - メイジ・カカオ・サポート実績一覧
https://www.meiji.com/pdf/sustainability/procurement/meiji_cocoa_support_program.pdf
- 森永製菓株式会社
 - <https://www.morinaga.co.jp/1choco-1smile/>
- 有楽製菓株式会社
 - <https://www.yurakuseika.co.jp/shfc/>
- 株式会社ロッテ
 - <https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/report.html>
 - <https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/cocoa/>
- 国際協力機構(JICA) / 認定NPO法人ACE / デロイト トーマツ コンサルティング
 - 児童労働フリーゾーンを通じた子どもの保護主流化プロジェクト
<https://www.jica.go.jp/oda/project/202109061/index.html>

開発途上国における サステイナブル・カカオ・プラットフォーム 児童労働分科会に関するHP・問い合わせ先

ウェブサイト:

[https://www.jica.go.jp/activities/
issues/governance/platform/index.html](https://www.jica.go.jp/activities/issues/governance/platform/index.html)



JICAガバナンス・平和構築部
「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」事務局

sustainable_cocoa@jica.go.jp



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム